

# チャペル週報

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に  
に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての  
部分が共に喜ぶのです。

(コリントの信徒への手紙一 12:26)



2011.10.17.~10.21 No.17  
関西学院宗教センター

---

☆チャペル・スケジュール☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

10月17日(月) 神 大 森 照 輝 (神4)  
経 人間を考える① 舟 木 讓 (宗教主事)  
人 いのちについて考える⑨ 山 泰 幸 (人間福祉学部准教授)  
聖和 聖書物語「イエスさま、あらしをしずめる」

---

10月18日(火) 神 上ケ原ハビタット  
文 上ケ原ハビタット  
社 秋の音楽チャペル② 聖歌隊  
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)  
経 人間を考える② 田 禾 (経済学部准教授)  
商 山 本 俊 正 (宗教主事)  
国 音楽チャペル ゴスベルクワイアPOV  
聖和「ビデオでみるランバス来日125年」  
総 Joseph DeChicchis (総合政策学部教授)

---

10月19日(水) 神 浅 野 淳 博 (神学部教授)  
社 「いのち」をめぐって⑤ 打 樋 啓 史 (宗教主事)  
法 瞑想 Christian Morimoto Hermansen (宣教師)  
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)  
商 地 道 正 行 (商学部教授)  
人 上ケ原ハビタット  
国 上ケ原ハビタット 一 輪 一  
聖和「花はどこへいった」岩 坂 二 規 (教育学部准教授)  
理「道草」松 木 真 一 (宗教主事)  
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)

---

10月20日(木) 神 後 藤 慧 (M2)  
文 音楽チャペル・バロックアンサンブル  
社 共に生きる① 関 根 康 正 (社会学部教授)  
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)  
経 人間を考える③ 栗 田 匡 相 (経済学部助教)  
商 石 淵 順 也 (商学部教授)  
国 English Chapel Jesse E. Olsen  
聖和「校歌『空の翼』を歌おう」関西学院グリークラブ  
総 宮 川 雅 充 (総合政策学部准教授)

---

10月21日(金) 院 土 井 健 司 (神学部教授)  
神 青 木 麻 里 子 (M1)  
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)  
経 舟 木 讓 (宗教主事)  
人 広 瀬 康 夫 (吉岡記念館職員)  
聖和田 淵 結 (教育学部宗教主事)  
理「バッハのマタイ受難曲について」栗 田 厚 (理工学部教授)

---

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於:ランバス記念礼拝堂(上ケ原)  
10月21日(金)神学部のために 水 野 隆 一

---

# 祈りのつながり

藤 原 康 洋

「生徒たちが自分の言葉でたくさん祈りましたよ。」中学部の宗教主事が、私たち教員との何気ない会話の中で、あるいは会議の中で折に触れ口にする台詞です。ここ数年のことでしょうか。

中学部で毎水曜日の午前 8 時から行われている早天礼拝。生徒たちが奏楽・司会を担当し、生徒・教員の有志 10 人～20 人が集う 10 分間ほどの会です。讃美歌を歌い聖書の言葉に触れた後、司会者の促しにより自由祈禱の時間となります。以前は教員による祈りが多くの割合を占め、祈りを口にする生徒の言葉も、「今日も一日、皆が元気で過ごせますように」といった定型句をなぞるようなものでした。それは中学生としては精一杯な祈りといえるでしょう。

最近は、「本日の行事が有意義に持たれますように」、「欠席している仲間へ励ましをお与えください」、「災害や戦争で苦しんでいる人々に安らぎがありますように」と、生徒たちが、自分たちの言葉で途切れることなく祈りの鎖を繋げていきます。

その日の学校の予定や世の中の動きを見渡し、祈る内容が重複することがないように、とのチームワークが暗黙のうちに働いているかのようです。大人の集団であっても実現が必ずしも容易ではない共なる祈りの豊かさ。「霊で祈り、理性でも祈ることにしましょう」と勧めた使徒パウロの教えの実践です。

学院の Mastery for Service に加え、「感謝・祈り・練達」というモットーを高等部とともに標榜している中学部にとって、祈る生徒の姿はその生きた証です。宗教主事の「今日も生徒たちは自分たちの言葉で豊かに祈りましたよ」との言葉に、私はいつも大きな喜びと励ましを与えられます。

来春、中学部は初等部 1 期生を迎え入れます。何にもまして、祈る心と言葉を豊かに携えた仲間が加わろうとしています。この芽が関西学院の新たな核として成長していくとき、学院はそのキリスト教主義の実を全うし続けることでしょう。そのためにも微力を尽くす者でありたい、と願っています。

(中学部副部長)

## ●宗教活動委員会 第2回教育研究部サロン

「大学におけるキリスト教主義教育の実践と新たな可能性」  
～社会学部、法学部の取り組みに見る「学生とキリスト教との出会い」～

と き：10月20日(木)18:00～20:00

ところ：関西学院高等部 視聴覚室(3階)

報 告：打樋啓史(社会学部准教授・宗教主事)

栗林輝夫(法学部教授・宗教主事)

## ●ランバスチャペルアワー

学部の枠を超えて集まった学生主体のチャペルがランバスチャペルアワーです。秋学期の予定は以下のとおりです。

10月25日(火)

11月15日(火)

いずれもランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)にて10:35～11:05

## ●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。

(18:00～18:20 1405教室)

10月21日(金) 田淵 結(教育学部宗教主事、宗教総主事)

10月28日(金) アンドレアス・ルスターホルツ(文学部宗教主事)

## ●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

## ●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

## ●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室ははじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。